

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」山口宇部校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・法令を遵守したスペースを確保しています。 ・時間差を利用して、支援スペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		加配の常勤職員と 2 名の非常勤職員を配置していますが、状況によっては不足を感じる時もありました。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	すぐの対応は難しい為、契約時に説明をさせていただきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		毎日のミーティング、週に 1 回の職員会議において実施しました。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、ひとつずつ業務改善を行なっています。まだ未解決の課題は引き続き対応して参ります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当社 HP にて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は、利用者・社内の 2 者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			一般財団法人「発達支援研究所」による研修や法人研修、また地域別単位での研修、事業所内研修を年度研修計画のもと行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内で統一したアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			集団支援プログラムは、持ち回り担当制を設けている。個別支援プログラムは主に担当が立案しています。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			随時見直しを行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・季節ごとのイベントを行っています。休日は利用時間が長いので、メリハリをつけています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成しているか	○			子どもの年齢、発達段階を考慮し、適宜小グループと個別による支援を組み合わせています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼でその日の支援内容と役割を確認し、前日の振り返りも行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		緊急性のあるものはすぐに打ち合わせ、それ以外は翌朝 MT で振り返りを行なっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は遅れが出ないように、日々確認を取っています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的モニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しを検討しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		充分ではないが、出来ることを組み合わせ支援しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当するスタッフ1、2名程度で参画することが多くなっております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			状況に応じて、保護者経由で学校の情報を得たり、直接学校と連絡調整を行ったりしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断して参ります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談員から提供される資料と、面談時のアセスメントによる情報収集の比重が大きいです。必要に応じて関連機関を訪問し、情報共有と相互理解に努めて参ります。
㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		連絡票を用いて情報提供できる体制を整えています。	

連携	⑳	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	行えてません。
	㉑	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は室内で完結しており、地域との交流は検討して参ります。
	㉒	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加出来てませんが、検討して参ります。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃は LINE でのやりとりや支援があった日は活動内容を記したプリントの配布、送迎時の口頭などで、状況を伝えあっています。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今年度は未実施です。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や更新時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			可能な限り対応しております。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	行えてません。要望があるので、人員が整えば検討して参ります。
	㉘	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情受付体制を書面と口頭でお伝えしています。苦情が出た時は迅速に直接対話で対応しています。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	ホームページにて月に2回ほど、活動内容や予定等を発信しています。
	㉚	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭で伝わらない時は、カードなどを使っています。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年度は未実施です。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時の対応マニュアルと感染症のマニュアルは職員に周知していますが、各家庭への周知には課題が残っています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		毎月「地震」「火事」「津波」「不審者」などの状況設定を変えて、訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		年に2回の研修を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。身体拘束が必要な時は、保護者様へ契約時に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載していく対応を取っています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		全てのお子さまについて、契約時にアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。提出を促進し、気づきを大事に考えてます。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」山口宇部校

保護者等数（児童数）：30(34) 回収数：26 割合：87%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	9	0	・狭いと感じるが工夫はされている。 ・その日の人数・年齢層で狭く感じる。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	5	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	7	2	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	26	0	0	やったことない事にチャレンジしたり、季節のイベントも楽しみ、感謝しています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	22	4	0	おでかけなど屋外活動があるとよい。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	10	6	・時間的に難しいのでなくてもしょうがない。 ・交流を希望していないので、このままでよい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	0	0	送迎の時にも、1日の様子を丁寧に伝えて下さり、あんしんして預ける事が出来ています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	2	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	9	7	・時間的に難しいのでなくてもしょうがない。 ・希望していない
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	3	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	2	0	とても丁寧に対応して頂いています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	4	3	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	1	0	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	2	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	0	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	23	3	0	いつも楽しみにしており、帰ってからもあれこれと報告をしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	25	1	0	満足だが、利用時間がもう少し長ければよい。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。